

服から服をつくる衣類のサーキュラー・エコノミーへの取組事例

- 回収スキームの開発や衣服リサイクル技術の進化を通じて、回収～リサイクル～製造の循環を達成

日本環境設計株式会社における事例

取組概要	服から服をつくる“BRING” ● BRINGは、服から服をつくるサーキュラー・エコノミーを実現するブランド ● 複数アパレル企業等と連携して、古着回収を実施 ● 回収した衣類のうちポリエステル（衣類の6割を占める素材）は衣類にリサイクル、その他素材はカスケードリサイクル（異なる製品または品質の低下した製品にリサイクル） ● 回収した衣類は化学分解処理により再生原料として活用 ● 衣類リサイクル技術は同社の特許技術であり、商用工場への導入は世界でも先進的と言える ● フランス国営企業と業務提携を結び、今後、技術ライセンスを世界中に提供	
	 The diagram illustrates the BRING circular economy model. It shows a cycle starting with '着る' (wearing) represented by a person icon, leading to '服を回収する' (recycling clothes) represented by a bee icon. From there, it goes to 'リサイクル' (recycling) represented by a beaker icon, then to '服をつくる' (making clothes) represented by a t-shirt icon, and finally back to '着る'.	
	効果 ● 服の回収から新しい衣類を作る衣類の循環を実現 ● 昨年12月までに1万5,000着を販売、今期12万着を販売	
企業名		 日本環境設計 JEPLAN Japan Environment PLANning 日本環境設計株式会社
設立年		2007年
売上高		非公開
企業概要		● 衣類やプラスチック等のリサイクルした衣類を生産・販売するアパレルメーカー ● 服の回収からリサイクル、再生素材を使った洋服の販売までを行うブランド「BRING」を提供